

石炭記念館だより

第4号

発行 直方市石炭記念館
〒822-0016 福岡県直方市大字 直方 692-4
TEL 0949-25-2243

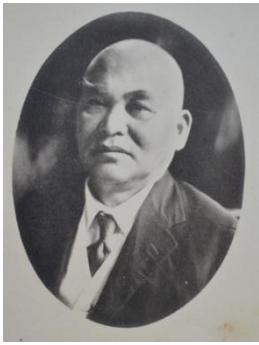


筑豊御三家

過日、「明治日本の産業革命遺産」として福岡県では三池の炭鉱跡、三池港、官宮八幡製鐵所等が世界遺産登録されました。とても喜ばしいことです。

しかしながら、近代日本建設のエネルギーであった膨大な石炭の産炭地が「筑豊」であったことは紛れもない事実です。

今回は直方市石炭記念館本館すなわち「筑豊石炭鉱業組合直方会議所」において、日本の夜明けを見据えて活躍した筑豊御三家の一人「麻生太吉」を取り上げて紹介します。麻生太吉翁



安政四年(1857)七月七日筑前国嘉麻郡立岩村字柏ノ森(現飯塚市柏ノ森)の庄屋の長男として生まれます。

十六才(明治五年)元服、幼名鶴次郎を太吉と改めます。

この頃から炭坑経営にあたり始め、まず同年、目尾御用山を共同で採掘しました。(麻生炭坑の興りである)

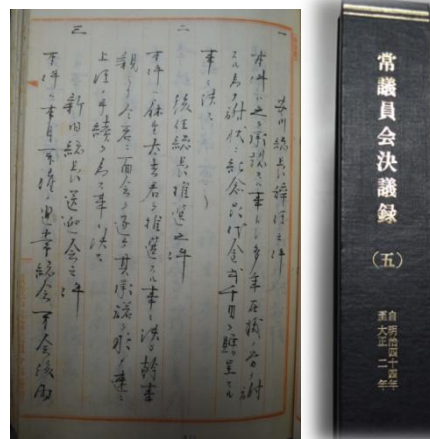
その後、明治十二年(1877)二三歳にして有井泉ヶ谷坑を手始めに鯉田浦田坑、網分坑開削に従事、その後忠隈炭坑経営、以後各炭坑を売却しつつ経営基盤の拡張に務めます。

1889年鯉田坑を三菱に、1894年に忠隈を住友に、1907年藤棚(本洞)を三井にそれぞれ売却。その他、1891年山内、1894年上三緒、1901年豆田、1906年綱分、1909年吉隈、1913年赤坂等の炭鉱を開削しました。

また、筑豊興業鉄道(株)役員、筑豊石炭鉱業組合会長、嘉穂銀行頭取、若松築港(株)監査役、九州鉄道(株)取締役、衆議院議員、貴族院議員、麻生商店社長、その他、多岐にわたり活躍を見せた。

後年、飯塚病院を始め電力、セメントを含め多角経営を以て各業界に残した功績は大きいである。

昭和十二年十二月八日 逝去 七七歳



右記の議事録(決議録)は筑豊石炭鉱業組合における資料(直方市石炭記念館所蔵)です、内容を紹介します。

明治四四年三月六日臨時常議員会

於 直方会議所開会

出席員

貝島 太助

堀 三太郎

井上 定次

吉田 良治

等の出席のもと麻生太吉に対し次期総長に推薦の会議が進行します。

議件及決議

一 安川総長辞任の件

略

二 後任総長推薦の件

本件は麻生太吉君を推薦する事と決し

略

三 新旧総長送迎会の件

略

とあります。直方市石炭記念館(筑豊石炭鉱業組合直方会議所)が日本の近代化の流れの中で重要な位置を占めていた事が明白です、皆様には是非お運びください。

空高く、澄んだ空気の中に深まりゆく秋を感じます。



コスモスが可憐な姿を風にまかせて揺れています。どこか優しい風景に出会いそうな、そんな季節です。

【お知らせ】

十一月八日(日)「フクオカ・サイエンス」(科学の日) ※入館無料

十一月十日(火) ~ 十一月十日(日)

企画展 「炭鉱と文学」を開催